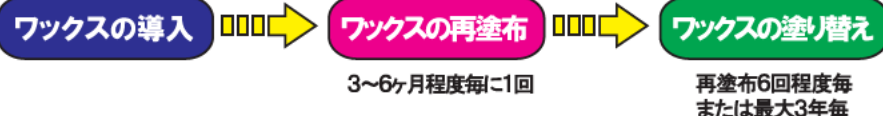


フローリングの床にワックスを塗布して再塗布を重ねた場合、ある程度期間が経過しますとツヤの低下が早くなるだけでなく、紫外線や気温の変動など様々な影響により劣化してしまいます。そのまま再塗布を続けると、部分的にワックスが取れて大きなへこみが出来たり、深い傷が目立ちやすくなる、何度再塗布を繰り返してもきれいに仕上がらないなどの問題が発生してしまいます。このような状況になってしまう前に、一旦古いワックスを除去してワックスの塗り替えをする事をお勧めします。

## ■ワックスによるお手入れの流れ



3~6ヶ月程度毎に1回

 再塗布6回程度毎  
または最大3年毎


左の写真は、古くなったワックスを除去してワックスを塗り替えた時の床の状態の変化を記録したものです。中間手入れのようなワックスの再塗布と違い深い傷などもなくなり、スッキリとしたきれいな状態に戻すことができます。

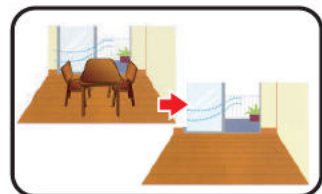
※床に付いた深い傷は消すことが出来ません。

## ■ワックスの塗り替え方



### 1 ワックスの塗り替えは時間に余裕のある天気の良い日に

塗り替えには時間がかかります。午前中から作業を始められる日で、晴れて気温が10℃以上の日を選んで行うようにします。



### 2 移動できる家具は別の部屋に移動します

普段移動しない大きな家具や冷蔵庫・テレビ・オーディオなどの電化製品を除き、テーブルやイス、ゴミ箱や置き敷きのカーペットなど、簡単に移動できるものは、作業を行う部屋から移動させます。



### 3 移動できない家具などや扉、壁の下側を養生します

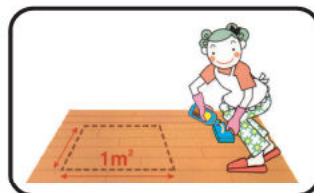
養生は、必ず行わなければならない事ではありませんが作業中に汚してしまわないようにあらかじめ養生シート(塗装用など)で保護しておく、作業がスムーズに行えます。白木の部分は必ず養生を確実に行ってください。

※養生シートはホームセンターなどで購入できます。



### 4 フローリング表面のゴミ・ホコリを取り除きます。

掃除機や乾式フロアワイパーなどを使用してゴミやホコリを取ります。化学雑巾や化学モップなどは使用を避けてください。



### 5 1m<sup>2</sup>程度の面積毎にワックスの除去を行います

スポンジにフローリング用ワックス専用の除去剤(オール床クリーナー原液使用)を含ませて1m<sup>2</sup>程度の面積にたっぷり塗ります。広い面積を一度に作業すると、うまく除去出来ません。



### 6 ワックスを溶解するため1~2分間放置します

古いワックスを確実に除去するため、本来は完全に溶解して白く浮いてくるまで5分間程度待たなければなりませんがこのタイプの床は、洗剤類の染み込みによるフクレの可能性があるので、ある程度白く浮いたらスポンジタワシでこすりながら除去します。白く浮いたら濡れ雑巾で拭き取ります。一度で取れない場合にはこれを繰り返して行ってください。

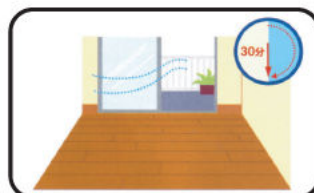
ご注意！ ワックス溶解中は非常に滑りやすくなります。作業者以外は退室してください。



### 7 水拭きをします。

きれいに水洗いた雑巾を固く絞って、水拭きを2回行います。洗剤は乾かないうちに拭き取ってください。

また、床面や溝に洗剤が残らないようにします。ご注意！ 床面と洗剤類との接触時間は5分以内になるよう手早く作業を行ってください。



### 8 床を充分に乾燥させます。

水分が残っているとワックスの仕上がりに影響しますので、約30分間ほど乾燥させます。扇風機を使用するのも効果的です。冬期は、暖房を25℃程度に設定すると、乾きを早くすることが出来ます。

これ以降の手順はワックス導入編⑥以降を参照下さい。

## インデックス・ガイド

必要に応じて以下の資料をご参照下さい。

- ワックスの塗布作業 ▶▶▶ **ワックス導入編** をご覧ください。
- ワックス後の日常のお手入れ ▶▶▶ **日常のお手入れ編** をご覧ください。
- ワックスのツヤが無くなってきた ▶▶▶ **ワックス中間お手入れ編** をご覧ください。

